

# 平成21年 ホヤラーバ計数結果 No.2

平成21年7月8日

函館水産試験場 調査研究部 栽培技術科

渡島北部指導所 森地区定期調査に合わせて、ホヤラーバ計数を行いました。  
下記の通り、森地区の結果をお知らせいたします。

**\* ユウレイボヤ・ザラボヤラーバが森地区で少数見られています。**  
去年の秋の出現ピークと比べるとまだ多い数ではありませんが、今後水温の上昇に伴い、ラーバの出現が増えると予想されます。

**\* また、浮き玉や採苗器に稚ホヤの付着が見られ始めました。**  
(2ページ目参照)

大きさは5mmほどの小さな稚ホヤです。

まだ小さいので正確にはわかりませんが、ザラボヤではないかと思われます。

現在表面にフジツボなどがついているホタテには、ホヤは付着しにくいと考えられますが、耳吊作業の段階で付着物を落とした地区は注意が必要です。

今後もラーバ・稚ホヤ観察を続けていきますので、情報を参考にしてください。

7月21日の定期調査に合わせて、ホタテ表面の付着物を観察する予定です。

データをまとめ次第速報いたしますので、よろしくお願いたします。

## \* 渡島北部指導所森定点

### 平成21年6月26日調査

ラーバ	沖1000m地点	沖3000m地点
ユウレイボヤ	0	0
ザラボヤ	0	3
その他ホヤ類	1	3

### 平成21年7月7日調査

#### ①プランクトンネット・15m曳き

ラーバ	沖1000m地点	沖3000m地点
ユウレイボヤ	0	1
ザラボヤ	0	1
その他ホヤ類	3	2

#### ②プランクトンネット・30m曳き

ラーバ	沖1000m地点	沖3000m地点
ユウレイボヤ	1	1
ザラボヤ	0.5	1.5
その他ホヤ類	4.5	10.5

\* データは全て海水1tあたりの個体数

## \* 浮き玉や採苗器に付着した稚ホヤの様子 \*

\* 稚ホヤサンプル・図4の写真提供: 渡島北部指導所(ホタテ付着稚貝調査にて採取)



図1:顕微鏡で見た稚ホヤの様子  
1マスの長さ5mm



図2:顕微鏡で見た稚ホヤ拡大図  
1マスの長さ5mm

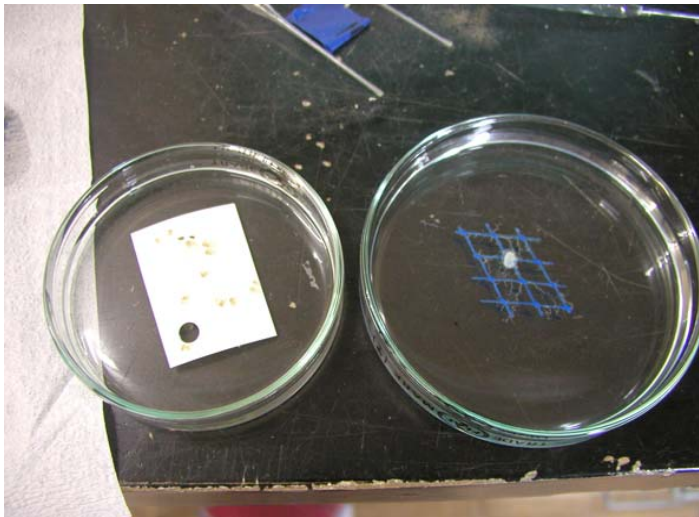


図3:肉眼でみた稚ホヤの付着の様子  
左:紙片、右:採苗器  
白い粒のようなものが稚ホヤ(5mm程)



図4:黒い浮き玉の表面に付着した様子  
白い粒のようなものが稚ホヤ(5mm程)